

平成18年度 後期「学生による授業評価」調査票 (実践英語用)

本学ではファカルティ・ディベロップメント(FD)活動の一環として、教育の現状を把握し、今後の授業改善などに役立てるために「学生による授業評価」を行っています。この授業評価は、学生の目から見て、現在受講している授業についての意見を尋ねる内容となっています。この授業評価の結果は、個人のプライバシーを守るため統計的に処理するとともに、得られたデータは上記の目的以外には一切使用しません。また、この授業評価が、あなたの成績に影響することは一切ありません。

以下の設問に対してマーク・カードにHかHBの鉛筆でマークして下さい。(回答不要は空欄で、0が必要なら必ず0にマークして下さい。)

【授業コード】(5けた) 1-□ □ □ □ (担当教員による指示に従って授業コードを5桁でマークして下さい。)

【あなた自身のことについて】

- 性別 1. 男 2. 女
学年 1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年 5. 5年 6. その他(大学院など)
学系・学部等 (8は都立大生のみ) 1. 人文・社会系 2. 法学系 3. 経営学系 4. 理工学系 5. 都市環境 6. システムデザイン 7. 健康福祉 8. 都立大学 9. その他(聴講生、科目等履修生、研究生など)
首都大学分野・コース (首都大生のみ:2けた) 01 社会 02 社会人類 03 社会福祉 04 心理 05 教育 06 哲学 07 歴史・考古 08 アジア・日本文化 09 欧米文化 10 表象言語 21 法律 22 政治 26 経営 31 数理 32 物理 33 化学 34 生命 35 電気電子 36 機械 41 都市政策 51 地理環境 52 都市基盤 53 建築都市 54 材料化学 61 ヒューマンメカトロ 62 情報通信 63 航空宇宙 64 経営システム 65 インダストリアルアート 71 看護 72 理学療法 73 作業療法 74 放射線 81 人文・社会系所属未決定 82 法学系所属未決定 91 大学院生
都立大学学部 (都立大生のみ) 1 人文学部 2 法学部 3 経済学部 4 理学部 5 工学部 6 都市研 7 大学院生 8 研究生 9 科目等履修生

以下の質問について、次の5段階評価に従って最も適切と思われる番号をマークして下さい。

- 全くそう思わない そう思わない どちらとも言えない そう思う 強くそう思う
1-----2-----3-----4-----5

【授業に対するあなたの取り組みについて】

- 問1 この授業への出席状況は? 1. 4回以上欠席 2. 3回欠席 3. 2回欠席 4. 1回欠席 5. 全出席
問2 私は、この授業に意欲的・積極的に取り組んだ。 1----2----3----4----5
問3 私は、この授業を適切に、客観的に評価する自信がある。 1----2----3----4----5

【授業について:共通事項】

- 問4 この授業は、目的が明確で、体系的になされていた。 1----2----3----4----5
問5 教科書、レジュメ、黒板、OHP、PC、CD、ビデオ等の使用が授業の理解に役立った。 1----2----3----4----5
問6 授業全体を通して、授業内容の難易度は適切であった。 1----2----3----4----5
問7 教員の話し方は聞き取りやすかった。 1----2----3----4----5
問8 教員は、効果的に学生の授業参加(質問、意見等)を促していた。 1----2----3----4----5
問9 教員は、学生の質問、意見等に対し、明快に、わかりやすく対応していた。 1----2----3----4----5
問10 授業に対する教員の熱意が感じられた。 1----2----3----4----5

【実践英語用個別事項】

- 問11 この授業では、わからない事柄について、積極的に質問した。 1----2----3----4----5
問12 この授業はNSE担当授業を受けるときに役立った。 1----2----3----4----5
問13 この授業の教材の難易度は適切だった。 1. 難しかった 2. やや難しかった 3. 適切だった 4. やや易しかった 5. 易しかった
問14 私が選んだのは、次のジャンルの授業だった。 1. Media 2. Reading 3. Comprehensive
問15 2年間の実践英語授業で、英語の学習にいつそう関心を持って取り組むことができるようになった。 1----2----3----4----5
問16 この授業は、どの力を向上させるのに効果がありましたか。
1. 文章の大意を把握する力 2. 構文や文法を把握する力 3. リスニングの力 4. 語彙力 5. 正確な和訳の力
問17 この授業の予習・復習のため週どのくらい時間をかけましたか。 1. 30分程度 2. 1時間程度 3. 1.5時間程度 4. 2時間程度 5. 2時間以上

【授業についての満足度】

- 問18 私は、この授業を受講して満足した。 1----2----3----4----5
問19 私は、この授業をほかの学生に薦めたい。 1----2----3----4----5

【自由記述】マーク・カードの裏面に自由に記述して下さい。

- ① この授業について改めて欲しい点を、具体的な提案を含めて記述して下さい。
② この授業で特に良かった点、他の授業でも取り入れて欲しい点などを記述して下さい。
③ この授業を含め、実践英語に関して、自由に意見を述べて下さい。

(ご協力有り難うございました。 首都大学東京 FD 委員会および基礎教育部会)

平成18年度 後期「教員による授業評価」調査票 (実践英語用)

本学ではファカルティ・ディベロップメント(FD)活動の一環として、教育の現状を把握し、今後の授業改善などに役立てるために「教員による授業評価」を行っています。この授業評価は、先生ご自身が授業をどのように考えているかをお尋ねする内容となっています。この授業評価の結果は、個人のプライバシーを守るため統計的に処理するとともに、得られたデータは上記の目的以外には一切使用しません。また、自由記述欄については、それぞれの質問に対して、先生が普段お考えのことをお書きください。

以下の設問に対してマーク・カードにHかHBの鉛筆でマークして下さい。(回答不要は空欄で、0が必要なら必ず0にマークして下さい。)

【授業コード】(5けた) 2-□ □ □ □ □ (封筒に記載してある授業コードを5桁でマークして下さい。)

【教員について】性別 1. 男 2. 女
職名 1. 教授 2. 助教授・准教授 3. 講師 4. 非常勤講師

学系・学部等 (8は都立大所属者のみ) 1. 人文・社会系 2. 法学系 3. 経営学系 4. 理工学系 5. 都市環境 6. システムデザイン
7. 健康福祉 8. 都立大学 9. OU、基礎教育センター、学生サポートセンター

首都大所属分野・コース (2けた、首都大所属者のみ) 01 社会 02 社会人類 03 社会福祉 04 心理 05 教育 06 哲学
07 歴史・考古 08 アジア・日本文化 09 欧米文化 10 表象言語 21 法律 22 政治 26 経営
31 数理 32 物理 33 化学 34 生命 35 電気電子 36 機械 41 都市政策
51 地理環境 52 都市基盤 53 建築都市 54 材料化学 61 ヒューマンカトロ 62 情報通信 63 航空宇宙
64 経営システム 65 インダストリアルアート 71 看護 72 理学療法 73 作業療法 74 放射線 94 その他

都立大所属学部(都立大所属者のみ) 1. 文学部 2. 法学部 3. 経済学部 4. 理学部 5. 工学部 6. 都市研究科 7. その他

授業科目 1. 都市教養プログラム 2. 基礎ゼミナール 3. 実践英語 4. 情報リテラシー 5. 未修言語科目
6. 保健体育科目 7. 理工共通基礎科目 8. その他の教養科目

受講学生数(履修申請者数) 1. 30人未満 2. 30-80人未満 3. 80-120人未満 4. 120-200人未満 5. 200人以上

本授業担当教員数 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

以下の質問について、次の5段階評価に従って最も適切と思われる番号をマークして下さい。

全くそう思わない そう思わない どちらとも言えない そう思う 強くそう思う

1-----2-----3-----4-----5

【受講学生について】

問1 この授業の受講者人数は適切な規模であった。 1----2----3----4----5

問2 学生は、この授業に意欲的・積極的に取り組んだ。 1----2----3----4----5

問3 学生は、この授業に対し、十分な理解力を持っていた。 1----2----3----4----5

【授業について:共通事項】

問4 この授業については、目的を明確にして、体系的に行うことができた。 1----2----3----4----5

問5 教科書、レジュメ、黒板、OHP、PC、CD、ビデオ等を適切に使用することができた。 1----2----3----4----5

問6 授業の難易度は、全体的に適切であった。 1----2----3----4----5

問7 学生に聞き取りやすいように話すことができた。 1----2----3----4----5

問8 効果的に学生の授業参加(質問、意見等)を促すことができた。 1----2----3----4----5

問9 学生の質問、意見等に対して、明快に、わかりやすく対応することができた。 1----2----3----4----5

問10 この授業に対し、熱意を持って取り組んだ。 1----2----3----4----5

【実践英語用個別事項】

問11 この授業では、わからない事柄について、積極的に質問するように促した。 1----2----3----4----5

問12 この授業では、NSE 担当授業でも役に立つよう意識して教えた。 1----2----3----4----5

問13 この授業の教材の難易度は適切だった。 1. 難しかった 2. やや難しかった 3. 適切だった 4. やや易しかった 5. 易しかった

問14 私が担当したのは、次のジャンルの授業だった。 1. Media 2. Reading 3. Comprehensive

問15 学生が今後もいっそう関心を持って英語の学習に取り組むことができるよう努めた。 1----2----3----4----5

問16 この授業で特に心がけたのはどのようなことですか。
1. 文章の大意把握 2. 構文や文法を把握する力 3. リスニング 4. 語彙力 5. 正確な和訳

問17 この授業の在宅学習(予習・復習)のため、週にどのくらい時間をかけるよう指導しましたか。
1. 30分程度 2. 1時間程度 3. 1.5時間程度 4. 2時間程度 5. 2時間以上

【授業についての満足度】

問18 学生は、この授業を受講して満足したと思う。 1----2----3----4----5

問19 私は、この授業を教えて満足した。 1----2----3----4----5

【自由記述】マーク・カードの裏面に自由に記述して下さい。

- ① この授業を行っていく上で、解決すべき課題があれば、具体的にお書きください。
② この授業で、教育効果を高めるために先生が特に行われている方法・工夫がありましたら、具体的にお書き下さい。また、昨年度の授業評価を受けて、先生が取り組まれた改善事項がありましたら、具体的にお書き下さい。
③ その他、FD、カリキュラムなどについてご意見がありましたらご自由にお書き下さい。(複数の授業を担当されている場合は1回で結構です。)(ご協力有り難うございました。首都大学東京FD委員会および基礎教育部会)